

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月12日
【四半期会計期間】	第29期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	ザインエレクトロニクス株式会社
【英訳名】	THine Electronics, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 高田 康裕
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田美土代町9番地1
【電話番号】	03(5217)6660
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 山本 武男
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田美土代町9番地1
【電話番号】	03(5217)6660
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 山本 武男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第3四半期連結 累計期間	第29期 第3四半期連結 累計期間	第28期
会計期間	自2019年 1月1日 至2019年 9月30日	自2020年 1月1日 至2020年 9月30日	自2019年 1月1日 至2019年 12月31日
売上高 (千円)	3,344,293	2,234,004	4,882,435
経常利益又は経常損失 () (千円)	5,854	402,133	246,992
親会社株主に帰属する四半期 純損失 () 又は親会社株主 に帰属する当期純利益 (千円)	30,393	328,862	184,871
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	342,389	385,255	708,962
純資産額 (千円)	8,693,510	8,631,377	9,078,707
総資産額 (千円)	9,419,496	9,126,904	9,840,646
1株当たり四半期純損失金額 () 又は1株当たり当期純利益 金額 (円)	2.81	30.42	17.10
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	91.1	92.6	90.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	44,666	277,414	131,434
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	201,383	2,135,752	190,417
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	97,386	97,451	97,429
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	5,112,807	7,029,698	5,329,928

回次	第28期 第3四半期連結 会計期間	第29期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日	自2020年 7月1日 至2020年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	8.77	14.65

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含んでおりません。

3 第28期第3四半期連結累計期間および第29期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

4 第28期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、引き続き今後の状況を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による企業活動の制約や外出規制等による個人消費の落ち込みにより企業収益の悪化が見られ、経済活動の停滞が懸念され先行きの不透明感が広がりました。

このような環境の下で、当社グループは当期より2022年を目標年次とする中期経営戦略「5G & Beyond」をスタートしました。戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長コースケースで生み出す粗利金額の倍増を目標とし、またさらに戦略5ゴール目標を超えた長期成長に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では主に国内市場向けの製品出荷が低調に推移し、計画を下回って推移しました。AIOT事業においても一部で製品の納期後倒しや顧客開発案件の遅れ等により当初の見込みを下回って推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、22億34百万円（前期比33.2%減）となり、売上総利益は11億28百万円（前期比35.6%減）となりました。販売費及び一般管理費については、前期より引き続き新しい市場のニーズに対応するための積極的な研究開発投資（6億2百万円、前期比23.3%減）を行い、販売費及び一般管理費全体として、15億3百万円（前期比14.4%減）となりました。これらの結果、営業損失3億74百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常損失4億2百万円（前年同期は経常利益5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億28百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

（単位：百万円）

		2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 第3四半期	増減率（%）
LSI事業	売上高	1,238	2,219	44.2
	営業利益	340	44	
AIOT事業	売上高	995	1,124	11.4
	のれん償却前 営業利益	63	48	30.0
	営業利益	34	49	
合計	売上高	2,234	3,344	33.2
	営業利益	374	4	

(LSI事業)

当第3四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、主に国内市場の顧客向け製品出荷が低調となり、計画を下回って推移しました。産業機器市場向けビジネスは、コロナ禍によりオフィス関連需要とパチンコ等関連需要が低迷する中で、主に国内市場向けのOA機器向けおよびアミューズメント機器向けの製品出荷が大きく落ち込んだ一方、米国の産業機器向け出荷は増加し、全体として前期比45%の減少となりました。同市場向けのビジネスはLSI事業の売上全体の約60%を占めております。車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約26%を占めております。国内顧客向けの製品出荷が低調となった一方で、中国車載アフターマーケット向け製品出荷や北米顧客向けの車載純正品向け製品出荷が増加し、前期比27%の減少となりました。民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約15%を占めております。国内顧客向けのモバイル機器向け製品の出荷が大幅に減少した一方、中国市場向け製品出荷は改善し、全体で前期比57%の減少となりました。これらの結果、LSI事業の売上高は12億38百万円（前期比44.2%減）、売上総利益は7億85百万円（前期比43.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、前期より引き続き新しい市場ニーズに対応した研究開発を積極的に実施しました。車載カメラ、医療用カメラ、認証用カメラ等のニーズに対応するための高速インターフェースV-by-One@HS新製品ラインアップや画像処理ソリューションの開発、複数信号を束ねてケーブル本数の抜本削減を可能とする高速通信トランシーバ製品の開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、研究開発費5億50百万円を計上しました。なお、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発は、昨年度に採択されました国立研究機関および諸大学との共同研究プロジェクトとして開発を行っており、研究開発費用の一部を総務省にご負担頂いております。

これらの結果、LSI事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は3億40百万円（前年同期は営業利益44百万円）となりました。

(AIOT事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は、一部の顧客向け製品で納期後倒しや開発案件の遅延等に起因する売上計上の後倒しが発生し、前年同期比減少となりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大予防に貢献する非接触型AI顔認証検温システムの販売を2020年3月より開始しました。同システムはホール型、サイネージ型およびゲート型の3種類のシステムをラインアップし、当第3四半期連結累計期間において200台を超える納入実績をあげ、AIOT事業の売上高の約23%を占め売上に貢献しました。これらの結果、AIOT事業の売上高は9億95百万円（前期比11.4%減）、売上総利益は3億43百万円（前期比6.4%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、前期より引き続きAI・IoTを活用する新ニーズの拡大や第5世代移动通信（5G）による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えて、SIMCom Wireless Solutions社との提携を通じたAI・IoTソリューションの開発に取り組み、通信型ドライブレコーダなどに向けた研究開発を行いました。さらに非接触型AI顔認証検温システムなどAIソリューションの研究開発も進め、全体として研究開発費52百万円を計上しました。また、同事業におけるM&Aに伴うのれんの償却額97百万円等を計上しました。

これらの結果、AIOT事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は34百万円（前年同期は営業損失49百万円）となりました。なお、前述ののれん償却前の営業利益は63百万円（前期比30.0%増）となります。

「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金が増加した一方、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末と比較して7億13百万円の減少となりました。また、負債合計は、買掛金の減少等により2億66百万円の減少となりました。純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払等により4億47百万円の減少となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権が5億27百万円減少した一方、税金等調整前四半期純損失を3億3百万円計上し、その他の流動資産が1億67百万円増加したことや仕入債務が1億32百万円減少したこと等により2億77百万円のマイナスとなりました。(前年同期は44百万円のマイナス)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入等により21億35百万円のプラスとなりました。(前年同期は2億1百万円のマイナス)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により97百万円のマイナスとなりました。(前年同期は97百万円のマイナス)

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として16億99百万円増加して当第3四半期連結会計期間末残高は70億29百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の金額は6億2百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,800,000
計	48,800,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,340,100	12,340,100	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	12,340,100	12,340,100		

(注) 提出日現在の発行数には、2020年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日		12,340,100		1,175,267		1,291,162

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,530,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,807,500	108,075	同上
単元未満株式	普通株式 2,600	-	-
発行済株式総数	12,340,100	-	-
総株主の議決権	-	108,075	-

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ザインエレクトロニクス株式会社	東京都千代田区神田 美土代町9-1	1,530,000	-	1,530,000	12.40
計	-	1,530,000	-	1,530,000	12.40

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,329,928	7,029,698
売掛金	848,434	327,028
商品及び製品	146,477	223,501
仕掛品	62,358	64,069
原材料	31,715	71,529
その他	105,552	314,024
流動資産合計	6,524,466	8,029,852
固定資産		
有形固定資産	105,056	105,445
無形固定資産		
のれん	521,358	423,603
その他	7,167	7,062
無形固定資産合計	528,526	430,666
投資その他の資産		
投資有価証券	2,556,309	439,440
繰延税金資産	14,555	8,382
その他	111,732	113,118
投資その他の資産合計	2,682,597	560,940
固定資産合計	3,316,180	1,097,052
資産合計	9,840,646	9,126,904
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,004	166,441
未払法人税等	50,605	6,212
賞与引当金	50,595	17,857
役員賞与引当金	10,977	-
資産除去債務	-	16,095
その他	208,607	156,054
流動負債合計	619,791	362,661
固定負債		
繰延税金負債	3,367	-
退職給付に係る負債	21,139	19,563
資産除去債務	25,073	26,066
その他	92,567	87,235
固定負債合計	142,148	132,865
負債合計	761,939	495,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,286,608	1,286,608
利益剰余金	8,749,324	8,323,170
自己株式	2,291,882	2,291,902
株主資本合計	8,919,316	8,493,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,762	81,383
為替換算調整勘定	38,690	36,182
その他の包括利益累計額合計	23,927	45,200
新株予約権	122,994	158,025
非支配株主持分	12,468	25,409
純資産合計	9,078,707	8,631,377
負債純資産合計	9,840,646	9,126,904

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,344,293	2,234,004
売上原価	1,591,522	1,105,068
売上総利益	1,752,771	1,128,936
販売費及び一般管理費	1,757,052	1,503,936
営業損失()	4,281	374,999
営業外収益		
受取利息	11,573	5,542
受取配当金	37,042	12,934
投資事業組合運用益	-	9,631
雑収入	5,072	16,911
営業外収益合計	53,688	45,019
営業外費用		
為替差損	40,902	72,076
雑損失	2,650	77
営業外費用合計	43,553	72,153
経常利益又は経常損失()	5,854	402,133
特別利益		
投資有価証券売却益	-	99,093
その他	126	36
特別利益合計	126	99,129
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	5,980	303,003
法人税、住民税及び事業税	21,888	6,949
法人税等調整額	8,592	6,173
法人税等合計	30,480	13,123
四半期純損失()	24,500	316,126
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,893	12,736
親会社株主に帰属する四半期純損失()	30,393	328,862

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失()	24,500	316,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	383,156	66,620
為替換算調整勘定	16,266	2,507
その他の包括利益合計	366,889	69,128
四半期包括利益	342,389	385,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,878	397,772
非支配株主に係る四半期包括利益	5,510	12,517

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失()	5,980	303,003
減価償却費	22,707	31,100
のれん償却額	97,754	97,754
株式報酬費用	43,012	35,066
賞与引当金の増減額(は減少)	31,639	32,737
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,546	1,575
役員賞与引当金の増減額(は減少)	10,389	10,977
投資事業組合運用損益(は益)	608	9,631
投資有価証券売却損益(は益)	-	99,093
受取利息及び受取配当金	48,616	18,477
支払利息	184	66
為替差損益(は益)	42,275	53,299
売上債権の増減額(は増加)	157,490	527,453
たな卸資産の増減額(は増加)	10,474	118,560
その他の流動資産の増減額(は増加)	56,003	167,460
仕入債務の増減額(は減少)	126,380	132,804
その他の流動負債の増減額(は減少)	147,008	69,148
その他	2,052	2,567
小計	55,840	221,297
利息及び配当金の受取額	49,044	19,437
利息の支払額	184	66
法人税等の支払額	37,687	75,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,666	277,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	16,808	17,558
固定資産の売却による収入	1,043	-
敷金の差入による支出	3,935	1,003
敷金の回収による収入	359	1,206
投資有価証券の取得による支出	15,760	-
投資有価証券の売却による収入	-	2,118,087
投資有価証券の償還による収入	37,314	6,784
投資事業組合からの分配による収入	16,300	30,195
子会社株式の取得による支出	219,984	-
その他	87	1,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	201,383	2,135,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	97,290	97,290
その他	95	161
財務活動によるキャッシュ・フロー	97,386	97,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	59,407	61,116
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	402,844	1,699,770
現金及び現金同等物の期首残高	5,515,652	5,329,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 5,112,807	1 7,029,698

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の影響に関して、当第3四半期連結累計期間においては、四半期連結財務諸表に重要な影響はありませんでした。

しかしながら、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当社は外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、現時点では、今後も一定期間、当第3四半期連結累計期間と同程度の影響が継続するとの仮定のもと、のれんや固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

記載すべき事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

記載すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
現金及び預金勘定	5,112,807千円	7,029,698千円
現金及び現金同等物	5,112,807	7,029,698

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年2月6日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,290	9.00	2018年12月31日	2019年3月12日

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年2月5日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,290	9.00	2019年12月31日	2020年3月12日

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,219,773	1,124,519	3,344,293	-	3,344,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,219,773	1,124,519	3,344,293	-	3,344,293
セグメント利益 又はセグメント損失()	44,720	49,002	4,281	-	4,281

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるキャセイ・トライテック株式会社の株式を追加取得したことにより、「AIOT事業」セグメントにおいてのれんを認識しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は211,235千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,238,229	995,775	2,234,004	-	2,234,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,238,229	995,775	2,234,004	-	2,234,004
セグメント損失()	340,600	34,399	374,999	-	374,999

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	2円81銭	30円42銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (千円)	30,393	328,862
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純損失金額()(千円)	30,393	328,862
普通株式の期中平均株式数(株)	10,810,079	10,810,066

(注) 前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

ザインエレクトロニクス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村尚子 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 倉本和芳 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているザインエレクトロニクス株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ザインエレクトロニクス株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注)1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。